

2024年 新年早々に、次々と悲しいことが起きてしまいました。…元日の地震、2日の旅客機と海上保安庁の飛行機衝突、3日の北九州市の大規模火事と秋葉原駅の刺傷事件…痛ましい災害、事故の中で、政権与党の派閥による裏金問題が、使用する国会議員への罪が問われない…？ 2月は節分があります。皆さんに「福」の便りが届くように邪気を払いたいものです。
2020年1月に国内で初確認された「新型コロナウイルス感染症」が4年を過ぎた昨年5月から「感染症法」の扱いが季節性インフルエンザと同類になっていますが、新型コロナウイルスに感染して人の中には、後遺症（せき、息切れ、だるさ他）に悩まされる人が多いと言われています。新型コロナウイルスは、夏と冬に流行する傾向にあると言われています。今年も全国の定点医療機関あたりの新規感染者は昨年11月頃から増え続けているようです。海外で急速に増えているオミクロン株の新変異株の「JM・1」へ国内でも置き換わりが進んでいるようです。まだまだ寒さ厳しい折、体調に注意し感染症対策をお願いします。

「自治会」からのご連絡

1. 防災井戸の水質検査を行い、検査結果「水道法において飲料水として問題なし」でした。【検査報告書回覧】
防災井戸：「第1街区公園」及び「区民会館」の二か所です。
2. 1月役員会・班長会において、「能登半島地震災害義援金」を送ることを決めさせて頂きました。
3. 2月3日(節分) 午後1時30分から、区民会館・近隣公園広場で「豆撒き」を行います。一緒に厄払いをしましょう。

【環境・会館施設部】からのご連絡

2024年（令和6年）2月の区民会館（室内・屋外）の清掃、班長会議の会場設営を、次の通り予定しています。

日 時	担当地区	3地区4, 5, 6班	区民会館	ホール・事務室・洗面所
2月18日（日）9時30分まで集合	実施責任者	班長（3地区4班）	清掃	（トイレ含む）会議会場設営

食用廃油回収のお知らせ

2月13日（火）9：00から17：00の間に班長宅にある容器に食用廃油を入れて下さい。
*ペットボトルで出される場合は、内容物を表示して容器の脇に置いて下さい。

●自主防災会より

【防災かわら版の全戸配布について】

自治会回覧で、「防災かわら版」を2021年12月 1号より2023年12月 24号までを回覧させて頂きました。今般、回覧分をファイルに纏め自治会員の皆様へ配布させて頂きます。

防災かわら版は「災害予防・災害時の対応」を月毎に回覧させて頂きましたが、今後は、回覧と共に2ヶ月に一度、全戸配布させて頂きますので、今回配布のファイルへ追加綴じをお願いします。

何時起きるか分からない、災害に備え、ご家族で内容を共有して頂き、何時でも見られるようにして頂ければと思います。

2月：如月（きさらぎ）寒さが残っているので、衣（きぬ）を更に着る月であるから「衣更着（きさらぎ）」他諸説あり

●冬と春の節目である立春（2月4日頃）を過ぎれば暦の上では春。立春以降の寒さを「残寒」「余寒」などと呼ぶわけですが、夏の「残暑」同様、「暦の上」と「身の上」では、やはり感じ方が違うもので、全然寒いですね。

一部の人には楽しみ、一部の人には憂鬱、また一部の人にはどうでもいい「バレンタインデー」が訪れます。

「本命チョコ」に始まり「義理チョコ」「逆チョコ」「友チョコ」「自己（マイ）チョコ」「家族（ファミ）チョコ」貴方は

よもやま話「四方山話」 【高齢社会】認知症に関する初の法律「認知症基本法」が施行

●認知症の人が尊厳や希望を持って暮らせる共生社会実現が目的の新法、認知症基本法が2024年1月1日に施行されました。

法律は基本理念に、国や自治体が対策に取り組む責務があり、国民も認知症の理解を深めることに努めると明記。施策として、

- (1) 学校教育などで理解増進 (2) 交通安全の確保、使いやすい製品普及 (3) 社会参加の機会確保や雇用継続へ啓発 (4) 適切な保健医療や福祉サービス提供 (5) 本人や家族の相談体制整備**一などが盛り込まれた。

認知症に特化した初の法律で、23年6月に議員立法で制定。団塊世代が全員75歳以上となる25年には認知症の人は推計675万～730万人で、高齢者の約5人に1人に上ると見込まれる。

●二小学区地区協でも「ぐうた オレンジ カフェ」を開催しています。

認知症について「のんびりコーヒーを飲みながら」学びの場を設けています。参加費は無料です。

自治会 会員状況 (行政区)	2024年1月現在 = 自治会会員数	転入/入会	転出/退会	訃報	2024年 1月 1日現在		
	4 3 3 (世帯)	8	3	7	発行編集	自治会総務部	
	第2つづが丘 令和6年 1月1日現在516世帯 男 535女593人 合計1,128人					市人口	世帯数
	人口1,128人 = 65歳以上587人 (男262人、女325人) で高齢化率52.0%です。					84,085人	38,424世帯

自治会の必要性をご理解の上、自治会維持のため「専門部」への入会をお願いします。

お知らせ掲示版 * 2024年1月28日(日) 「第1回自治会健康麻雀大会」を開催しました。



【豆知識】 『焼酎』

焼酎製造には必須の蒸留技術は紀元前4~3世紀頃には始まっており、様々な国々を伝わり日本へと技術がもたらされることで、泡盛や黒糖焼酎・芋焼酎・麦焼酎・米焼酎など歴史的にも興味深い発展を遂げています。

日本における焼酎の歴史や起源は正確には分かっておらず、起源には諸説あるようです。数々の説がありますが、一番有力とされているのがタイから琉球・薩摩を経由し全国へと伝わったという説。天文3年（1534年）に書かれた「陳侃使琉球録」によると、琉球には南蛮酒というシャムから渡来した酒についての記述があり15世紀頃シャム（現在のタイ）より「ラオロン」と呼ばれる糖蜜ともち米を原料とした蒸留酒が輸入されていました。その後蒸留酒が琉球王朝の宮廷酒として飲まれるようになり、沖縄から薩摩（鹿児島）へ伝わったことで沖縄で泡盛が作られ、焼酎 造りの製法が日本全国へ広まったとされています。

昭和29年に鹿児島県大口市の郡山八幡の改修中に発見され、永禄2年（1559年）に書かれた木片には、「神社の座主が大変ケチで、一度も焼酎を飲ませてくれなかった」と宮大工の文句があったことから分かる通り、元々九州では15世紀（1400年～）には熊本の人吉・球磨（ひとよし・くま）ではすでに焼酎が飲まれていたと推察されています。

焼酎が日本に伝わった室町時代から明治時代まで「らん引き（兜釜式焼酎蒸留器）」と呼ばれる蒸留器で1回のみ蒸留される単式蒸留、乙類焼酎のみでした。その後イギリスで改良されたイルゲス式連続蒸留器が明治28年に日本へと輸入され、連続式蒸留器により不純物がなく純粋なアルコールを抽出できるようになり、甲類焼酎が誕生することになりました。第二次世界大戦が終わって間もない昭和24年戦中・戦後間もなく続いていた酒の配給制度が終わり、米・麦を原料 としない焼酎、洋酒などの製造が自由化されました。

【焼酎の定義】 国税庁によると焼酎の定義は「蒸留方式」や「原料」「製法」により決まります。

【蒸留方式】	・単式蒸留機で蒸留させた、アルコール度45%以下のもの	単式蒸留焼酎 焼酎乙類 本格焼酎
	・連続式蒸留機で蒸留させた、アルコール度36%未満のもの	連続式蒸留焼酎 焼酎甲類

【焼酎で使用できない原料・製造工程】

ウイスキーやブランデー、ウォッカ、ラム、ジンと同じ「蒸留酒」ですが、焼酎と区別するため原材料と製造工程には条件が定められています。つまり使用できない原料や製造過程があります。

【使用できない原料とは】	・発酵・糖化させた穀類（麦芽）	ウイスキーと区別させるため
	・果実（ナツメヤシを除く）	ブランデーと区別させるため
	・砂糖・はちみつ（黒砂糖を除く）	ラムと区別させるため
【できない製造工程とは】	・白樺灰等での濾過	ウォッカと区別させるため
	・ねずの実や草根木皮を漬け込み蒸留	ジンと区別させるため



【焼酎の製法による種類一覧】 ※国税庁HP参照

【焼酎の製法は蒸留の種類】	単式蒸留（蒸留が1回のみ）	焼酎乙類と呼ばれていた
	連続式蒸留（蒸留2回以上のもの）	焼酎甲類と呼ばれている
	甲類焼酎と乙類焼酎を混ぜた混和焼酎	

単式蒸留焼酎：本格焼酎（焼酎乙類）とは=単式蒸留とは、発酵したもろみを蒸留し、単式蒸留器（ポットスチル）で気化した蒸気を冷ますことでアルコール度数を高めるとい、古くから使われている方法。いわゆる芋焼酎、麦焼酎、米焼酎はこの分類に入ります。

連続式蒸留焼酎（焼酎甲類）とは=連続式蒸留焼酎とは、焼酎を何度も蒸留する方法。大容量焼酎などお得感のある焼酎や梅酒などを作るホワイトリカーもこの分類になります。

混和焼酎とは=混和焼酎とは、焼酎甲類・焼酎乙類を混ぜ合わせた焼酎のこと。混和焼酎は「甲類」「乙類」の割合により分類され、パッケージには混和量の多い方が記載されています。

焼酎の原料による種類一覧	芋焼酎	安納芋、紅さつま、長芋	泡盛	国産米、タイ米			
米焼酎	米	麦焼酎	大麦	くり焼酎	栗	しそ焼酎	赤しそ
そば焼酎	ダツタンソバ（米とそばを混ぜ醸造）		粕取り焼酎	清酒を作る際出る酒粕			
黒糖焼酎	黒砂糖（糖液）	じゃがいも焼酎	馬鈴薯、メークイン				

1980年代、缶チューハイがきっかけとなりチューハイブームがおこります。チューハイとは、甲類焼酎に炭酸水や果汁・ジュース・ウーロン茶などで割ったもの。日本の酒税法では、焼酎ではなくリキュールとして分類されています。

寒さに負けない体作りに心掛け、「感染症対策も継続で」元気に過ごしましょう！